

# i-都市交流会議2020

会場 JPタワー ホール&カンファレンス・東京国際フォーラム

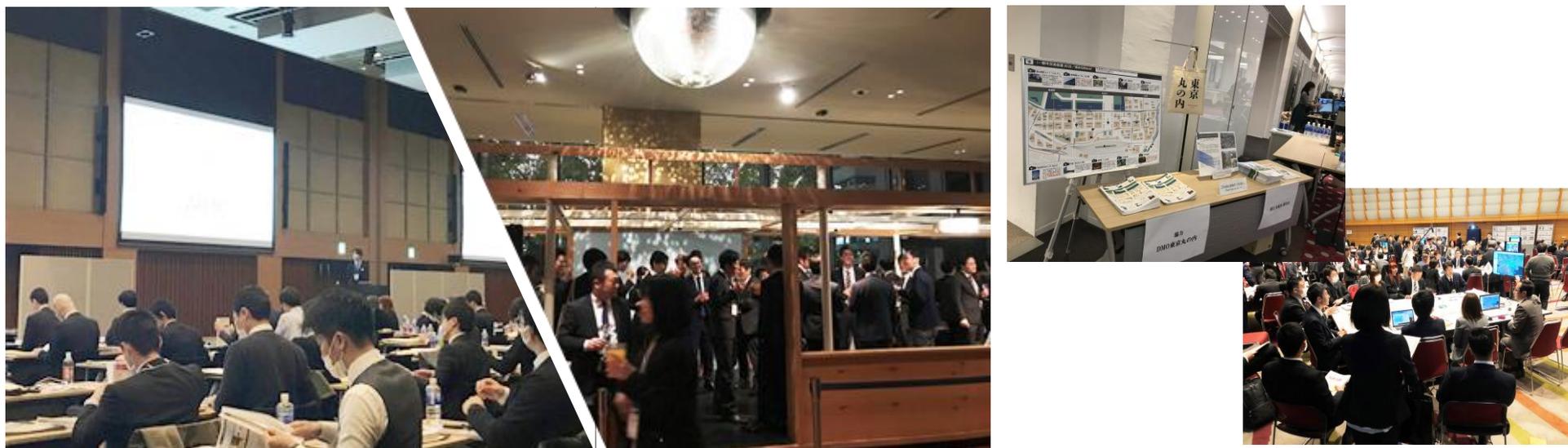
会期 2020年2月12日(水)~13日(木)

規模 160人

DMOの  
関わり 会議会場の提案、レセプションの企画・運営支援、  
街あるきMAPの作成、招聘者向けウォークガイドの実施

概要

国土交通省・内閣府が共同主催の国際会議・ワークショップ。全国から街づくりに携わる自治体の若手職員の方が参加されるため、「東京らしさ」をアピールしたいというご要望があり、東京駅舎を一望できる会場提案、写真映えするスポットを記載したオリジナル街あるきMAPの作成、エコバッグのご提供と多岐にわたるサポートをさせていただきました。



## 東京駅を一望できる開放的な空間での閉会レセプション

最終日の夜に東京の良さをアピールできる場所で閉会レセプションを行いたいというリクエストがあり、新丸の内ビル7Fのレストランフロア「丸の内ハウス」のうち2店舗を貸切のご提案をしました。当日は2月にしては暖かい夜で、多くの参加者にテラスに出てお食事やワインを楽しんでいただくことができました。



街づくりに携わる自治体職員の方々に、写真映える丸の内らしいスポットを見ながら歩いてもらいたい、というリクエストがあり、オリジナルの街あるきMAPを作成しました。エリア内から10か所を選定し、閉会レセプションの会場へ各参加者が徒歩移動する際に活用いただきました。



MAPは英語でも作成し、海外招聘者向けのウォークガイドも実施しました。

**1 丸の内駅舎** 旧東京中央線駅舎の一部保存・復元して建設されたPタワー商業施設KITTEの6Fにある歴史的な駅舎丸の内駅舎が見下ろせる絶景ポイント。

**2 丸の内二丁目ビル** 2002年に生まれ変わったオフィスビル「丸の内二丁目ビル」。1923年に竣工した当時に基礎に使われていた鉄の軌がアート作品となっており、行幸御前にも展示されている。

**3 丸の内仲通り** 特等ラウンジの丸の内仲通りが、1947年田区道、経路が交通規制し、アーバンラスとして新しい街を創出している。11月～2月まではイルミネーションを実施。

**4 三三一号館広場** オアシスビルと三三一号館美術館に囲まれた空間。11月まで噴水が流れており、都市緑化機構により「都市のオアシス認定緑地」に選定された。

**5 明治生命館** 1934年に竣工された「重要文化財」。職員の労働環境改善司令部によって使用された応接室などが見学可能。（水・木・金のみ）

**6 丸の内ビルディング（丸ビル）** 2012年、重要文化財でもある東京駅舎を保存・活用して1914年に京野会館が建築された当時の姿を復元。天井をモーターで上げ下げされたほか、復元前の意匠が復元されている。

**7 行幸（ぎょうこう）通り** 皇宮の公務行事や外国大使の履任快慶足などの際に使われる東京都道。東京駅舎のライトアップを撮影できる絶好のフォトスポット。

**8 東京駅 ドーム天井** 2012年、重要文化財でもある東京駅舎を保存・活用して1914年に京野会館が建築された当時の姿を復元。天井をモーターで上げ下げされたほか、復元前の意匠が復元されている。

**9 大手町の森** 丸の内仲通りの先にある、大手町の森の真上に作られた「大手町の森」。200本の樹木や多くの山野草が植栽されており、都市緑化のモデルとして注目を浴びている。

**10 大手町仲通り** 大手町ファウンティセンターの隣に位置する屋外広場。東京のユニークなユニティにも認定されており、MICEの会場としても活用されている。



【ご利用者の声】国土交通省 ご担当者様

DMO東京丸の内様には、会議の都内開催が決まり、まさにこれから準備をはじめようという初期の段階からサポートを依頼しました。こちら側のオーダーは、「せっかくならば、会議が終わった後も東京らしい時間の過ごし方、東京のまちを楽しめるエリアで会議を開催したい」という曖昧な投げかけでしたが、丸の内駅舎を望む会議会場のアレンジから名刺交換会の飲食メニューの提案、イルミネーションが煌びやかな丸の内仲通りでの海外ゲストのエクスカージョンまで、こちら側の意向に応じたさまざまなご提案・サポートをいただきました。

結果的に、会議参加者の皆様からは「また次も参加したい」と大変好評を得ることができ、また機会があればサポートをお願いしたいと考えています。

